

# 2019年度 第4四半期 京都ものづくり中小企業景況調査 報告書

## <概況>

受注量については「減少」もしくは「やや減少」と回答した企業の割合が過半数となり、DIも7業種全てでマイナス値となるなど、全体的に減少傾向が見られる結果となった。

今後の見通しについても受注量同様に全ての業種でDIがマイナス値となり、悪化傾向にあった前回調査までと比べて更に厳しい見通しとなった。

また、受注単価や資金繰りについても全体的に若干の悪化が見られ、採算状況については2013年9月調査以来6年半ぶりに「赤字」と回答した企業の割合が「黒字」と回答した企業の割合を上回った。

受注余力については、8割以上の企業が「受注余力あり」と回答するなど、府内ものづくり中小企業の受注動向は厳しい局面にあるといえる。

## <項目別の特徴>

- (1)受注量 : 全体的に減少傾向が見られる。
- (2)受注見通し : 悪化傾向にあった前回調査までと比べて更に厳しい見通し。
- (3)受注単価 : 全体的に若干の悪化が見られた。
- (4)資金繰り : 全体的に若干の悪化が見られた。
- (5)採算状況 : 「赤字」企業の割合が「黒字」企業の割合を上回った。
- (6)受注余力 : 「受注余力あり」とする企業が80.8%と、前期と比較して6.7ポイントの上昇となった。  
(「受注余力あり」企業が増加した＝マイナス傾向)

## <分析>

調査対象企業のうち52社に対して、訪問等により景況感についてヒアリングを実施。

新型コロナウイルス感染症が拡大する中での調査となったが、受注量について3月末時点で既に影響が出ているという企業はおおよそ2割程度で、本調査における「受注減」との回答の多くは、2018年の米中貿易摩擦等を発端とする世界経済の減速による影響を引きずる形のものであった。

一方で、今後については、ほぼ全ての業界や事業分野でコロナ禍の影響が出るとの見通しで、その度合いは時点を追って徐々に拡大することが予想され、特に国内メーカーの工場が次々と停止を表明している自動車産業については、部品メーカーやサプライチェーンに及ぼす影響が今後より顕著に表れてくるであろうとの声が聞かれた。

また、近年低調であった半導体・液晶業界の受注については、中国・韓国の手元メーカーによる設備投資により、一部では年明けから回復の兆しがあったものの、コロナ禍により物流インフラの停滞、部品調達の遅延に加えて消費の冷え込みが懸念されるため、回復時期はずれ込むことが予想される。

その他、府北部では今年初めに大手造船会社が構造改革に伴い商船建造の新規受注を行わないことを発表したため、今後の影響が懸念される。

(注) 本報告書で使用するDIとはディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したとする企業の割合から「減少」・「悪化」したとする企業の割合を差し引いた値である。

調査対象期間 2020年1月～3月

(2020年3月末集計)

調査対象企業 300社 回答企業数 254社 (回答率 84.7%)

## 1. 調査概要

### (1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせん  
の円滑化を図る。

### (2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 300社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	18社	② 金属製品関係	68社
③ 一般機器関係	85社	④ 電気機器関係	54社
⑤ 輸送用機器関係	18社	⑥ 精密機器関係	21社
⑦ 樹脂製品関係	36社		

### (3) 調査時点

2020年3月末日現在

### (4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

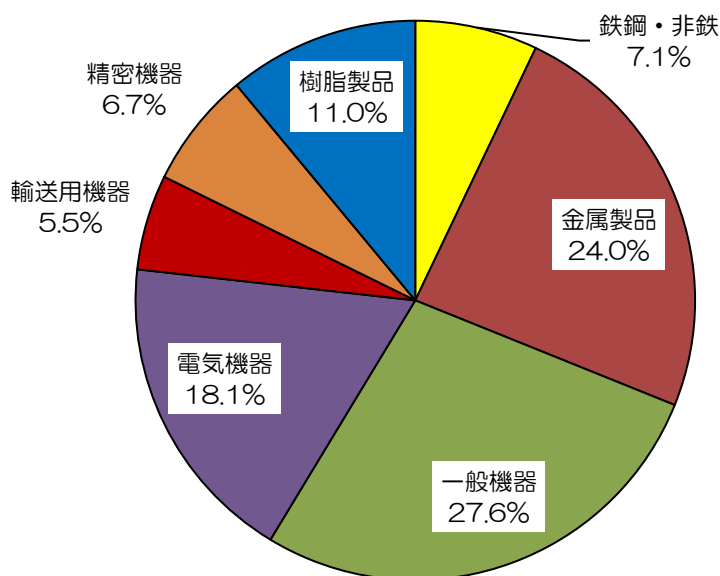
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）  
※一部企業へはヒアリング調査を実施

### (5) 回答状況

① 調査対象企業数	300社		
② 回答企業	254社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	18社	( 7.1% )	
金属製品関係	61社	( 24.0% )	
一般機器関係	70社	( 27.6% )	
電気機器関係	46社	( 18.1% )	
輸送用機器関係	14社	( 5.5% )	
精密機器関係	17社	( 6.7% )	
樹脂製品関係	28社	( 11.0% )	
④ 回答率	84.7%	[前回：86.3%]	

## 2. 回答企業の概要

### (1) 業種別回答企業の内訳



### (2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	5 2.0%		1 1.6%		1 2.2%			3 10.7%
~300万円	16 6.3%		4 6.6%	2 2.9%	4 8.7%	2 14.3%	1 5.9%	3 10.7%
301~999万円	11 4.3%		1 1.6%	7 10.0%		1 7.1%		2 7.1%
1000~2000万円	147 57.9%	10 55.6%	41 67.2%	42 60.0%	26 56.5%	3 21.4%	11 64.7%	14 50.0%
2001~5000万円	56 22.0%	5 27.8%	13 21.3%	16 22.9%	12 26.1%	2 14.3%	3 17.6%	5 17.9%
5000万円超	19 7.5%	3 16.7%	1 1.6%	3 4.3%	3 6.5%	6 42.9%	2 11.8%	1 3.6%
合 計	254 100%	18 100%	61 100%	70 100%	46 100%	14 100%	17 100%	28 100%

### (3) 業種別・従業員別回答企業数

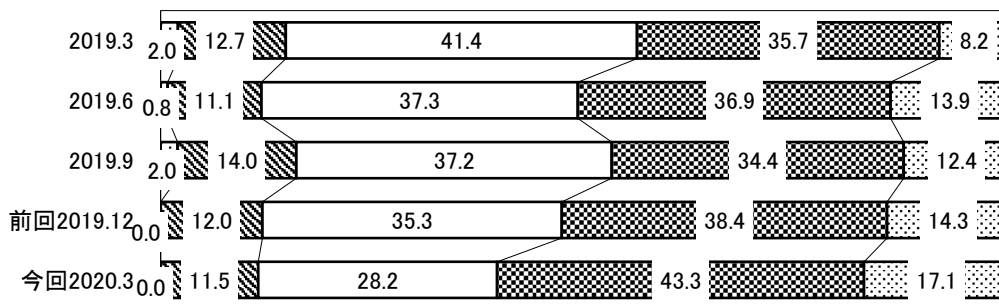
(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	19 7.5%	4 22.2%	2 3.3%	6 8.6%	3 6.5%			4 14.3%
6~10人	26 10.2%	2 11.1%	4 6.6%	10 14.3%	2 4.3%	3 21.4%	4 23.5%	1 3.6%
11~20人	72 28.3%	3 16.7%	19 31.1%	25 35.7%	11 23.9%	1 7.1%	4 23.5%	9 32.1%
21~30人	36 14.2%	3 16.7%	13 21.3%	9 12.9%	5 10.9%		2 11.8%	4 14.3%
31~50人	42 16.5%	3 16.7%	10 16.4%	8 11.4%	12 26.1%	4 28.6%	2 11.8%	3 10.7%
51人以上	59 23.2%	3 16.7%	13 21.3%	12 17.1%	13 28.3%	6 42.9%	5 29.4%	7 25.0%
合 計	254 100%	18 100%	61 100%	70 100%	46 100%	14 100%	17 100%	28 100%

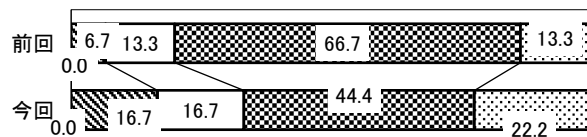
### 3. 調査結果

#### (1) 受注量について

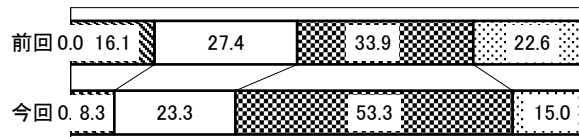
①全体 (252社) □増加 ■やや増加 □不変 ■やや減少 □減少 (%)



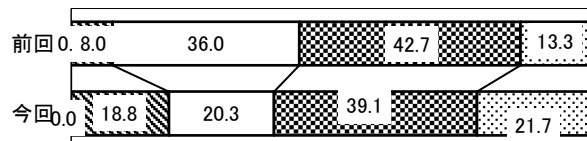
②鉄鋼・非鉄 (18社)



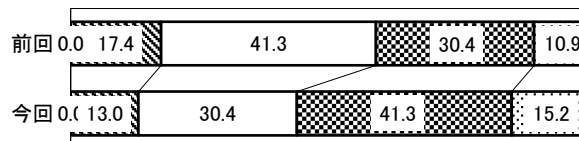
③金属製品 (60社)



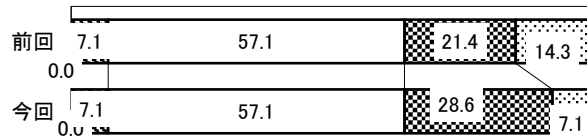
④一般機器 (69社)



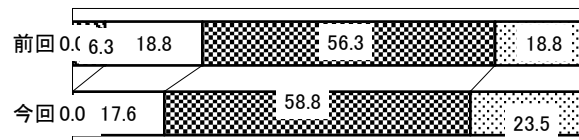
⑤電気機器 (46社)



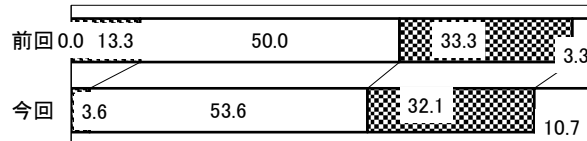
⑥輸送用機器 (14社)



⑦精密機器 (17社)



⑧樹脂製品 (28社)



#### ○全体

・1月～3月期の受注量の業況判断D I (「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲48.9となり、前期(10月～12月期)のD I値▲40.7と比べ8.2ポイント低下し、全体的に減少傾向が見られる。

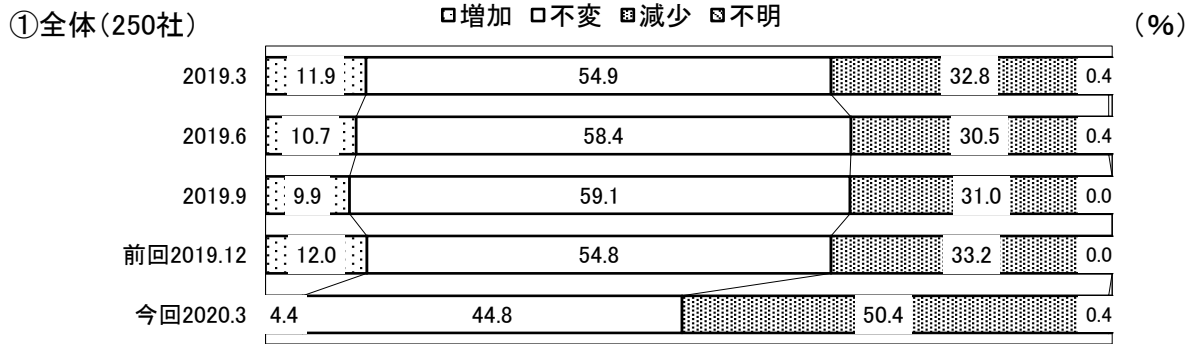
#### ○業種別

・D I値は、輸送用機器(▲28.6)、樹脂製品(▲39.2)、一般機器(▲42.0)、電気機器(▲43.5)、鉄鋼・非鉄(▲49.9)、金属製品(▲60.0)、精密機器(▲82.3)と7業種全てでマイナスとなった。

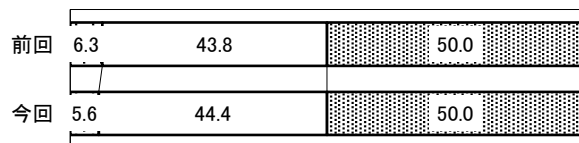
・D I値を前期と比較すると、輸送用機器のみ前期比±0ポイントとなり、鉄鋼・非鉄(23.4ポイント)、一般機器(6.0ポイント)の2業種で上昇。精密機器(▲13.5ポイント)、樹脂製品(▲15.9ポイント)、金属製品(▲19.6ポイント)、電気機器(▲19.6ポイント)の4業種で低下している。

・鉄鋼・非鉄、一般機器で「やや増加」と回答した企業の割合が増加した。

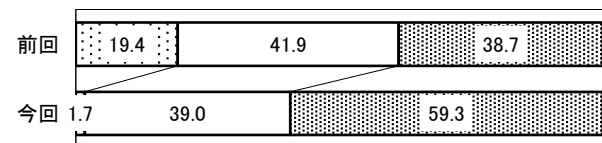
(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)



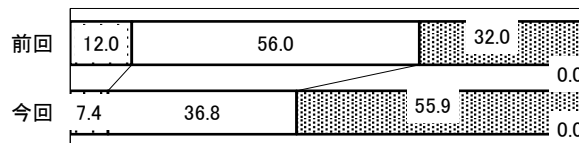
②鉄鋼・非鉄(18社)



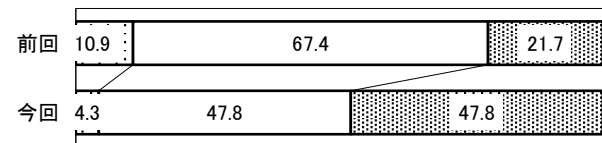
③金属製品(59社)



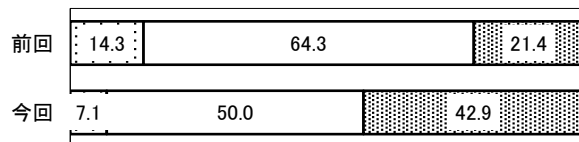
④一般機器(68社)



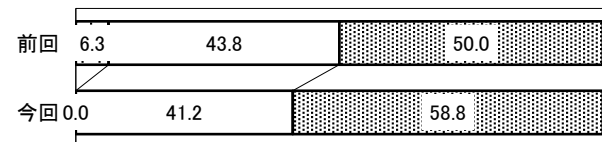
⑤電気機器(46社)



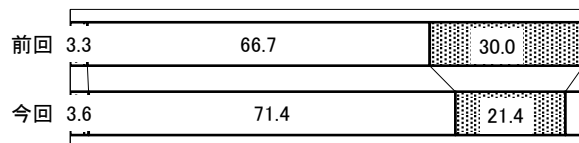
⑥輸送用機器(14社)



⑦精密機器(17社)



⑧樹脂製品(28社)



○全体

・次期(4月~6月期)の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲46.0となり、前期(10月~12月期)調査時のD I 値▲21.2と比べ24.8ポイント低下し、悪化傾向にあった前回調査までと比べて更に厳しい見通しとなった。

○業種別

・D I 値は、樹脂製品(▲17.8)、輸送用機器(▲35.8)、電気機器(▲43.5)、鉄鋼・非鉄(▲44.4)、一般機器(▲48.5)、金属製品(▲57.6)、精密機器(▲58.8)と、受注量についての調査同様に7業種全てでマイナスとなった。

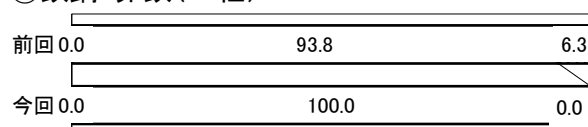
・D I 値を前期と比較すると、樹脂製品(8.9ポイント)の1業種でのみ上昇。鉄鋼・非鉄(▲0.7ポイント)、精密機器(▲15.1ポイント)、一般機器(▲28.5ポイント)、輸送用機器(▲28.7ポイント)、電気機器(▲32.7ポイント)、金属製品(▲38.3ポイント)の6業種で低下している。

・鉄鋼・非鉄、金属製品、一般機器、精密機器で「減少」と回答した企業の割合が半数以上となった。

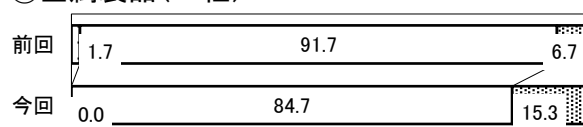
### (3) 受注単価について



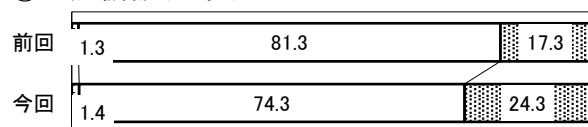
#### ②鉄鋼・非鉄(18社)



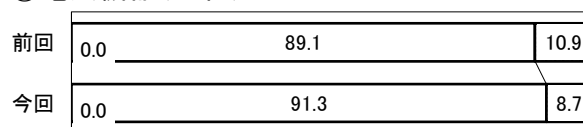
#### ③金属製品(59社)



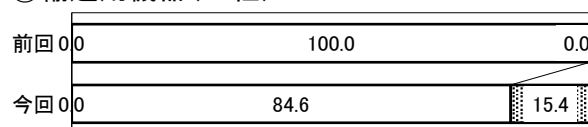
#### ④一般機器(70社)



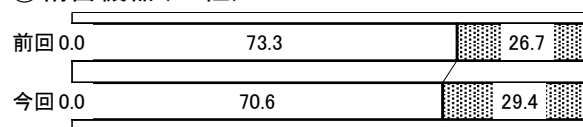
#### ⑤電気機器(46社)



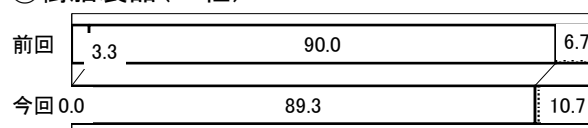
#### ⑥輸送用機器(13社)



#### ⑦精密機器(17社)



#### ⑧樹脂製品(28社)



#### ○全体

・1月～3月期の受注単価の業況判断D I (「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲15.5となり、前期(10月～12月期)のD I 値▲10.1と比べて5.4ポイント低下と、若干の悪化が見られた。

#### ○業種別

・D I 値は、全て「不変」との回答であった鉄鋼・非鉄は±0となり、電気機器(▲8.7)、樹脂製品(▲10.7)、金属製品(▲15.3)、輸送用機器(▲15.4)、一般機器(▲22.9)、精密機器(▲29.4)の6業種でマイナスとなった。

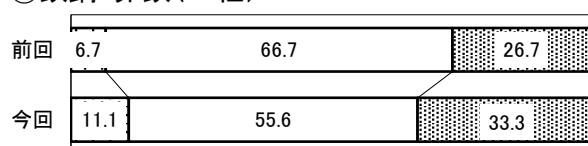
・D I 値を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄(6.3ポイント)、電気機器(2.2ポイント)の2業種で上昇。精密機器(▲2.7ポイント)、一般機器(▲6.9ポイント)、樹脂製品(▲7.3ポイント)、金属製品(▲10.3ポイント)、輸送用機器(▲15.4ポイント)の5業種で低下した。

#### (4) 資金繰りについて

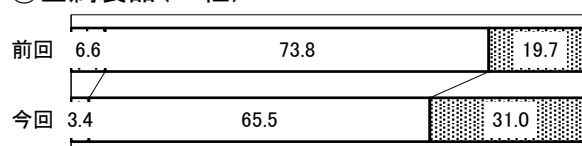
##### ①全体(248社)



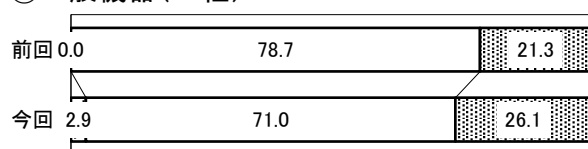
##### ②鉄鋼・非鉄(18社)



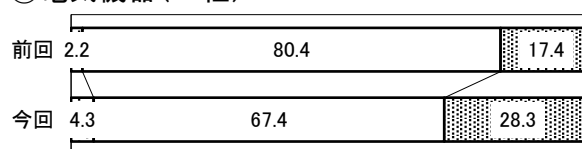
##### ③金属製品(58社)



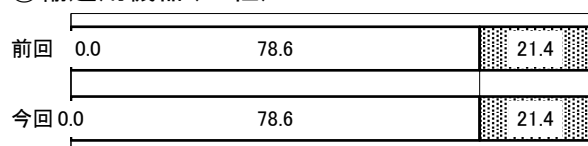
##### ④一般機器(69社)



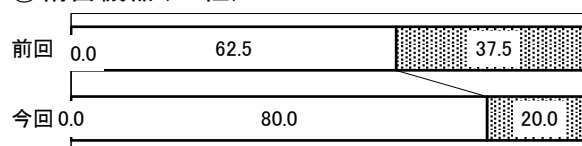
##### ⑤電気機器(46社)



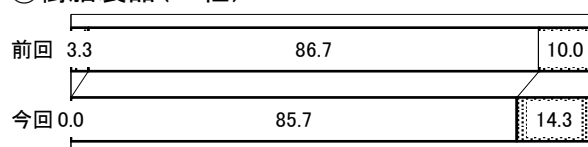
##### ⑥輸送用機器(14社)



##### ⑦精密機器(15社)



##### ⑧樹脂製品(28社)



#### ○全体

- ・1月～3月期の資金繰りの業況判断D I (「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値)は▲23.0となり、前期(10月～12月期)のD I値▲17.5と比べて5.5ポイント低下と、若干の悪化が見られた。

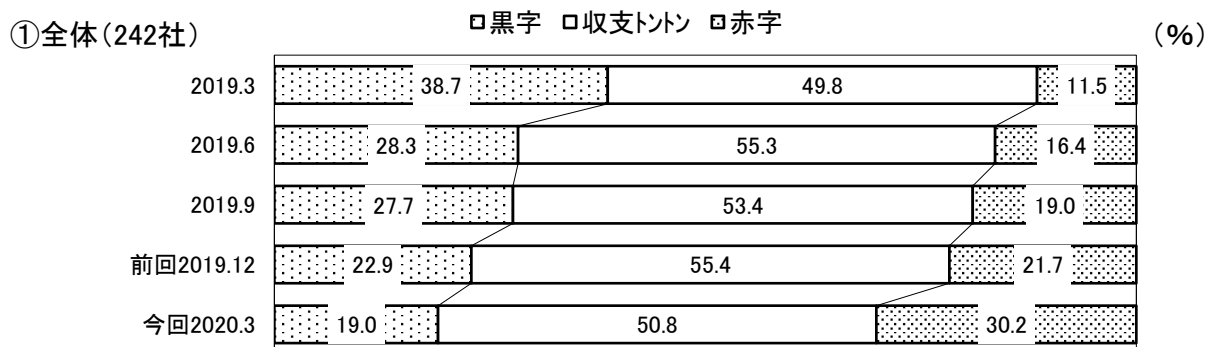
#### ○業種別

- ・D I値は、樹脂製品(▲14.3)、精密機器(▲20.0)、輸送用機器(▲21.4)、鉄鋼・非鉄(▲22.2)、一般機器(▲23.2)、電気機器(▲24.0)、金属製品(▲27.6)と7業種全てでマイナスとなった。

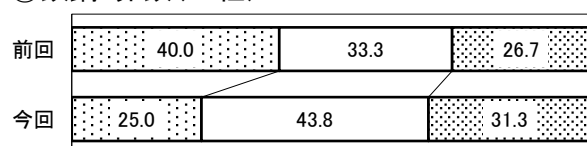
- ・D I値を前期と比較すると、輸送用機器のみ前期比±0ポイントとなり、精密機器(17.5ポイント)の1業種のみ上昇。一般機器(▲1.9ポイント)、鉄鋼・非鉄(▲2.2ポイント)、樹脂製品(▲7.6ポイント)、電気機器(▲8.8ポイント)、金属製品(▲14.5ポイント)の5業種で低下した。

- ・精密機器で「悪化」の割合が減少した。

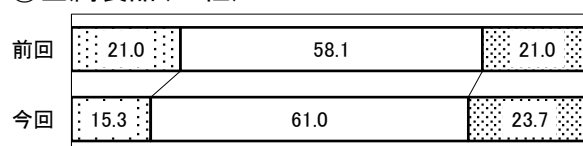
## (5) 採算状況について



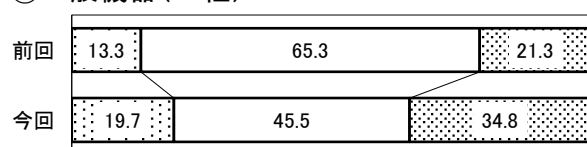
### ②鉄鋼・非鉄(16社)



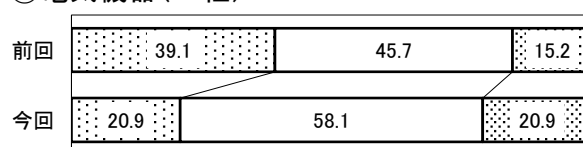
### ③金属製品(59社)



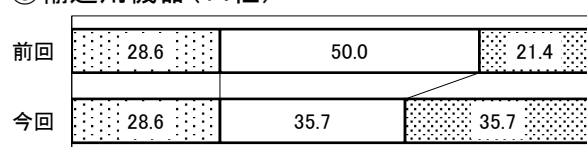
### ④一般機器(66社)



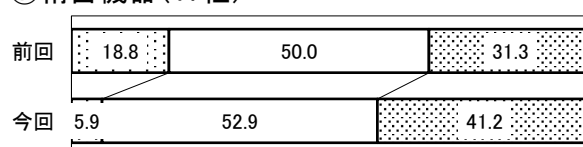
### ⑤電気機器(43社)



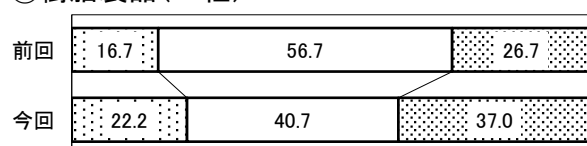
### ⑥輸送用機器(14社)



### ⑦精密機器(17社)



### ⑧樹脂製品(27社)



#### ○全体

・1月～3月期の採算状況の業況判断DI（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲11.2となり、前期（10月～12月期）のDI値1.2と比べ12.4ポイント低下し、2013年9月調査以来6年半ぶりに「赤字」企業の割合が「黒字」企業の割合を上回った。

#### ○業種別

・DI値は、「赤字」と「黒字」の回答が同数であった電気機器のみ±0となり、鉄鋼・非鉄（▲6.3）、輸送用機器（▲7.1）、金属製品（▲8.4）、樹脂製品（▲14.8）、一般機器（▲15.1）、精密機器（▲35.3）の6業種でマイナスとなった。

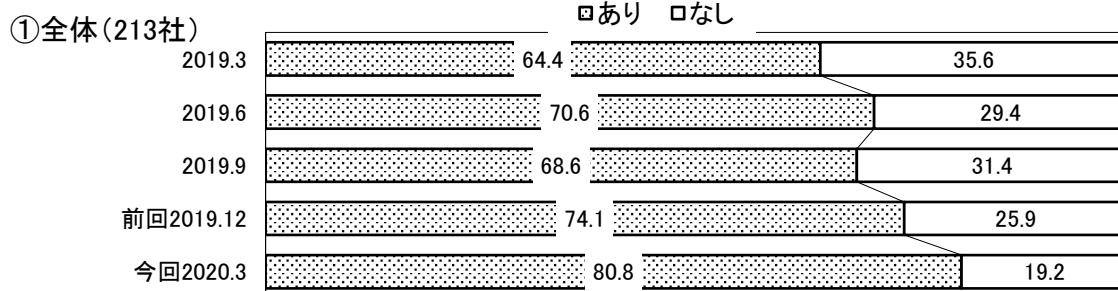
・DI値を前期と比較すると、樹脂製品（▲4.8ポイント）、一般機器（▲7.1ポイント）、金属製品（▲8.4ポイント）、輸送用機器（▲14.3ポイント）、鉄鋼・非鉄（▲19.6ポイント）、精密機器（▲22.8ポイント）、電気機器（▲23.9ポイント）の7業種全てで悪化傾向となった。

・一般機器、樹脂製品における「黒字」企業が増加した。

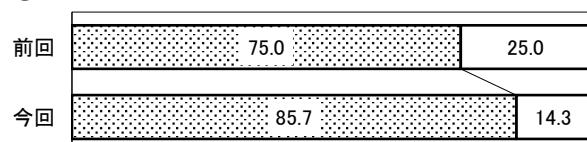


## (6) 受注余力について

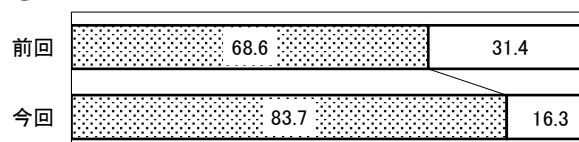
(%)



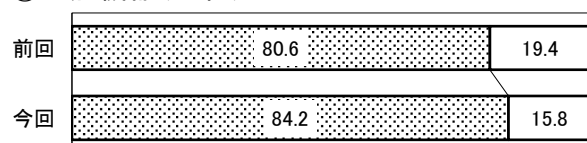
### ②鉄鋼・非鉄(14社)



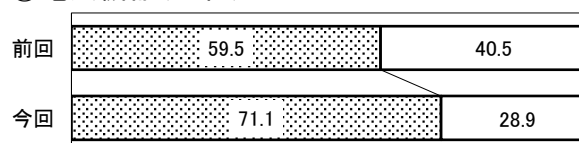
### ③金属製品(49社)



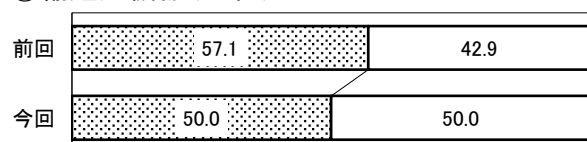
### ④一般機器(57社)



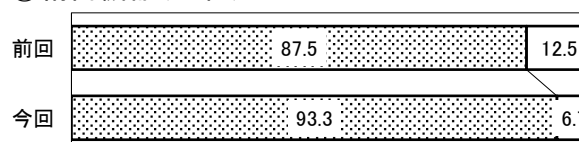
### ⑤電気機器(38社)



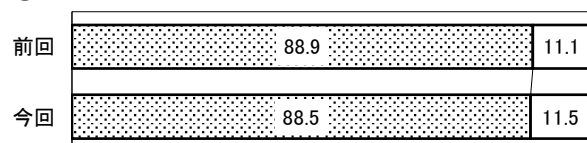
### ⑥輸送用機器(14社)



### ⑦精密機器(15社)



### ⑧樹脂製品(26社)



#### ○全体

・1月～3月期の受注余力の業況判断DⅠ（「受注余力あり」と回答した企業の割合から「受注余力なし」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は61.6となり、前期（10月～12月期）のDⅠ値48.2と比べ13.4ポイント上昇した。

（「受注余力あり」企業が増加した＝マイナス傾向）

・1月～3月期は「受注余力あり」とする企業が80.8%と、前期と比較して6.7ポイントの上昇となった。

#### ○業種別

・DⅠ値は、「受注余力あり」と「受注余力なし」の回答が同数であった輸送用機器のみ±0となり、精密機器（86.6）、樹脂製品（77.0）、鉄鋼・非鉄（71.4）、一般機器（68.4）、金属製品（67.4）、電気機器（42.2）の6業種で「受注余力あり」が「受注余力なし」を上回っている。

・DⅠ値を前期と比較すると、金属製品（30.2ポイント）、電気機器（23.2ポイント）、鉄鋼・非鉄（21.4ポイント）、精密機器（11.6ポイント）、一般機器（7.2ポイント）の5業種で前回比プラスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が増加。樹脂製品（▲0.8ポイント）、輸送用機器（▲14.2ポイント）の2業種で前回比マイナスとなり、「受注余力あり」と回答した企業の割合が減少している。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134  
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 323-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp